



アカマツ カズコ

## 赤松 佳珠子



### 所属

株式会社シーラカンズアンドアソシエイツ・代表取締役  
法政大学デザイン工学部・教授

### 略歴

1990年日本女子大学家政学部住居学科卒業後、シーラカンズ（のちのC+A、CAt）に加わる。2002年よりパートナー。2013年より法政大学デザイン工学部准教授、2016年より同教授。現在、CAtパートナー、法政大学教授、神戸芸術工科大学客員教授、日本学術会議連携会員。また、長野県県立学校学習空間デザイン検討委員会 座長、長野スクールデザインプロジェクト（NSDプロジェクト）委員長、文部科学省・学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議「新しい時代の学校施設検討部会」委員を務める。  
主な作品に、流山市立おおたかの森小中学校（2015年）、山元町役場（2019年）、共愛学園前橋国際大学5号館（2021年）、土生公民館（2021年）など。渋谷ストリーム（2019年）のデザインアーキテクトを務める。  
主な受賞に、2016年日本建築学会賞（作品）、日本建築家協会賞、第26回村野藤吾賞 など。

### アドバイザーとしての専門分野

建築計画・意匠設計（柔軟で創造的な学習空間・地域に開かれた学校や複合施設としての学校の計画）/省庁・地方行政が主催する委員会委員及び設計プロポーザル委員など

### これまでの主な学校支援・助言実績

建築意匠設計者として、千葉市立打瀬小学校（1995年）より現在まで、小学校、中学校、国際スクール、高等学校、大学、小中学校地域施設の複合施設、学校寮施設等、多様な教育施設の設計・監理を国内外で手掛けている。  
設計期間での取り組みとして、建物使用者である学校教職員・学生とのワークショップを実施し、設計にワークショップ結果を反映できるよう努め、また竣工後も、千葉市立美浜打瀬小学校（2006年）では、空間を学習に活かすことを目的として、継続的に教職員と研究者の協働・連携活動を試行している「オープンスクール研究会」へ、建物設計者としてアドバイザー参加をしている。  
建築計画・設計の実務では、流山市立おおたかの森小・中学校・おおたかの森センター・こども図書館（2015年）の設計や立川市立第一小学校・柴崎学習館・柴崎学童保育所（2014年）のマスタープラン（基本計画）作成段階からのプロジェクト参画など、公立小学校の複合化プロジェクトの経験や、その他、公立・私立を含む多種学校建築の設計・監理の実績から、「長野県県立学校学習空間デザイン検討委員会」「NSD（長野スクールデザイン）プロジェクト」（長野県教育委員会）、「文部科学省・学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議「新しい時代の学校施設検討部会」」（文部科学省）をはじめ自治体・公官庁等のアドバイザー・講演会等でのアドバイス業務に従事している。

### 対応可能学校種

小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校、幼稚園、学童保育所、国際スクール、大学等